

33 2020 3 31

2019

□□		11	29		1	9	30	10	20
□□	4								
			43		25		18		
□□									
□□					()		
					()	□□	

□□ □□ .
 .
 .
 10

3

3

3

□ □
□
に □

□
に □

□
に □

--	--	--

1.

2.

大鏡

花山

次の帝、花山院の天皇と申じき、冷泉院の第一の皇子なり。御母、藤

永観二年八
九八四年。

位につかせ給ひ、御年十七、寛和二年丙戌、

あさましく候

せさせ給へりしこそ、御年十九、世を保たせ、こと二年、そののち、

あはれなる

おほしまじ

藤壺の上の御局の小戸

に、有明の月

れい

仰せられける

給ひしきと申す

には。」と、

藤原道長

手づから取り

まじくおぼし

さやけき影を、まはゆ

ちるほどに、月の、たむら雲のか

ゆきければ、

わが出家は成就するなりけり、とて

弘徽殿の女御

花山天皇の女御。藤

御覽しけるを

「しばし。」とて、取

、しめしな おは

なむ。」と、そら泣き

さて、
より東
大内裏の東側の上東

みづからの声にて、手

ありつるが、すでにな

聞かせ給ひけむ、さり

。」と申しければ

「ただ今、これより過

なれば、御道なりけり

花山寺におはしまし

大臣にも、恋
道兼の父、藤原兼

ければ、「我をば、は

なりな。日ごろ、よく

【板書計画】

『大鏡』 花山天皇の出家

一 (次の帝より二十二年おはしましき。)

冷泉院

花山天皇

伊尹 — 懷子

984 位につかせ給ふ (十七歳)

↔ せ給ふこと二年

986 御出家入道せさせ給へりし (十九歳)

- ・ 人にも知らせさせ給はで
- ・ みそかに

そののち、二十二年おはしましき
ご存命だった

1008 没 (四十一歳)

【板書計画】

『大鏡』 花山天皇の出家

二 (あはれなることはくそら泣きし給ひけるは)

消極的 (ためらい)

1 有明の月いみじく明かかりければ

「いかがすべからむ」

月の顔にむら雲のかかりて

「わが出家は成就するなりけり」

2 弘徽殿の女御の御文

「しばし」取りに入りおはしましける

1 とまらせ給ふべきやう侍らず

… 神璽・宝剣わたり給ひぬるには

↔ 手づから取りて、春宮の御方に
わたし奉り給ひてければ

2 ただ今過ぎば、おのづからさはりも

出でまうで来なむ

… そら泣きし給ひける

積極的 (急がせる)

【板書計画】

『大鏡』 花山天皇の出家

四 (花山寺に恐ろしさよ)

〈花山寺〉

剃髪して出家する

せ給ひて

「我をば、はかるなりけり。」
たましたのたな

泣かせ給ひけれ。

「まかり出でて、大臣にも、
いま一度見え、かくと案内申して、
必ず参り侍らむ」

花山天皇が出家したことを報告し、自分も出家する

日ごろ、よく御弟子にて候はむと契る

↔ すかし申し給ひけむ

恐ろしさよ

【板書計画】

『大鏡』 花山天皇の出家

三 (さて、土御門より御道なりけり)

京都市山科
〈花山寺〉

〈晴明宅〉

〈土 門大路〉

〈上東門〉

→ 「ただ今、これより過ぎ
させおはしますめり。」

式神

御後ろをや見参らせけむ

・一八〇年、一九〇年も生きていくなぜ昔話講という場に来る必要があるのか。

・若侍だけが「うたてげなる」人たちの異様に気づいているのか。

・なぜ語り手は二人の会話を「いとあさましき」と言ったの「、みづしき者たちは、見おしせ、居寄りなどしたのか

・なぜ語り手は世継、繁樹、嬭、若侍が語っている内容を一歩ひいて見ていたのか。

・最後の世継の会話文の意味と、本文に書かれている意義

・極楽浄土に行く事を三〇代から考え始めるものだろうか

・大丸と繁樹という名前の関係は？

・「大鏡」はどのような意味か。

・大鏡とその他の鏡との関連性が知りたいです。

・なぜ鏡物シリーズは歴史書の最高峰とされているのか。

・雲村院の菩提 と花山天皇の出家に話の関連性が見えない

- ・「出家」の表現の使い分けに「あつて」のあつな効果が得られるか
- ・なぜ雲がかかっていない時は迷うのに雲がかかると前向きになったのか
- ・この後の栗田殿と花山天皇の関係はどうなるのか
- ・この文の教訓とは？

C

花山天皇 「我をばはかるなりけり」

すかし申し給ひけむ…恐ろしさよ

栗田殿

批判

式神

おはしますめり」

感慨無量

・後戻り×

・退位は運命だった

悲劇性を強調

物

資料7

資料7 花山天皇

7-①『大鏡』 花山天皇の出家

メンバー

ログループで書きたい問い

世継は藤

にたいしてどう感じる

ログループで出した答え

藤原家

理由

本文中では 殿の

行脚に

と表現

明らか

表現で

大鏡

道長

表現

表現

表現

一条

工心

つら

花山天皇の尊は長く

書かれ 眉入水のように

ものも感じられる。

それによっておける世継の

感情は された

対する明らか

7-② 『大鏡』 花山天皇の出家

メンバー)

ロググループで考えたい問い

何故本文には暗明の下りがあるのか。

ロググループで出した答え

栗田殿

天皇が出家を思い直すと、計画がくらくたため、天皇が他人と接触するのを阻止してまた。

花山天皇

栗田殿のモウコに気付かず、素直に従う。

伏線、別の視点

暗明の話を聞く

花山天皇の心理は操り師から見た(？) (？) 下りにもあはれには思ひ留しけりやし

しかし...もう後戻りできない

栗田殿が逃げたときにはじめてたてまされたことを知り、

真相が明らかになったときの劇的、を高めようとするのでは？

別の視点を入れることで...

花山天皇の認識と実際の状況の差が浮き彫りになる。伏線

7-④ 『大鏡』 花山天皇の出家

メンバー)

ロググループで考えたい問い

物語の中で暗明が果たす役割

(？) 記述することの効果とは(？)

ロググループで出した答え

暗明、記述の仕方の場合

、終始花山天皇がたまさかていく様子の中で構成される。

自分

暗明

つまり、退位の運命として来ると感じたことと感した。

↓最後に栗田殿にびびりして退位をせよと頼まれたことに反する。

やはり、退位は運命だ、と感ずる。そこを花山天皇が

悲しさを隠してやる。

7-③ 『大鏡』 花山天皇の出家

メンバー)

あるのか。

ロググループで出した答え

暗明

あ、まいた、天皇

「もう、運命だ、た

出家された

式神(内裏)

はこの上でのような役

。本文の「だが今過ぎば、おのづからけはりも出てまうて来なむ。」

↓栗田殿の陰謀の深さを示す

天皇、女御の女を取りに行く

栗田、うそ泣きで息が

暗明、会内しようとするが、間に合わなかった。

↓天皇の出家は暗明にと、ターミネングが悪か、た。

一旦踏みとどまることは大事

。本文の「あはれ、

↓帝の決意は固めた

。式神無能だ、た、

暗明がいろいろ間に合、た。

『大鏡』 花山天皇の出家

メンバー)

ロググループで考えたい問い

月の描写が

ロググループで出した答え

↓そこで、田はあけて、神のこことなど持ち出して花山天皇のちやうちを断ち切る。

↓

とに、から、

(歴史的背景)関白の藤原氏と政治的実権を握る花山天皇が

↓月の、に、ら、のかかりては出家

↓、月は、ソの象、であった。

月、内、で、煩、をあらわにする。

家がなくなる出家成就

2019 研究大会授業

『大鏡』は「花山天皇の出家」をどう語っているのか一語り手に着目してー

実践上の留意点

1 授業説明

2 協議会より

